

大学見学研修会

3年生が、6月10日(月)に福島大学、福島県立医科大学へ見学にいきました。3年生はこれまで、大学調べ活動をおこなってきており、「大学ってこんなところ」という自分なりのイメージを持っていました。しかし、模擬授業の受講や、大学生の学習活動の見学など、大学の雰囲気を直に感じることで、イメージが大きく変わっただけでなく、大学で学ぶことへのさらなる意欲向上に繋がったようです。



福島大学附属図書館の「ラーニング commons」がとても気に入りました。個人での学習だけでなく、教え合いや議論をしながらの学習ができる環境があり、大学で学ぶことへの期待が高まりました。

桑折 侑菜 (相馬郡飯館村立飯樋小学校出身)

これまで両大学とも訪れたことはありましたが、実際に授業を受けることは初めてでした。今回の研修の中で、県立医科大学での特別授業は印象的でした。すべて英語、しかも通訳なしということに驚きました。

二瓶 真誠 (伊達市立富成小学校出身)

インターネットやパンフレットからだけでは味わえない、「大学の空気」を味わうことができ、大学のイメージがより具体的になりました。あと4年もすれば大学生になるので、自分の行きたい大学に合格できるような基礎学力を身につけていきたいです。

鳥羽 美妃 (福島大学附属小学校出身)

自分の将来の目標とは異なる内容の講義を受けた今回の研修会でしたが、専門的なことを深く学ぶということの面白さを感じました。自分の興味関心が薄いことに対して、実際に知る・学ぶということを通して、面白さを感じることができると気づけたことが嬉しかったです。

金子 奈月 (伊達市立保原小学校出身)



私は医師や医療関係の仕事に興味を持っているので、県立医科大学の見学は将来を見据えるうえでも大変参考になりました。

渡邊 萌生 (福島市立福島第二小学校出身)

とても貴重な機会でしたが、きっとまだまだ大学を理解できていないと思います。大学進学を意識してもっと理解していきたいです。

山田 恵理 (福島市立岡山小学校出身)

中体連支部大会

6月4日(火)、卓球部の生徒たちが参加してきました。1点の重み、1セットを勝ち取る難しさを体感したようです。1・2年生は9月に新人戦があります。新人戦で勝利を掴み取るために、さらに練習に励んでいきます。

1セットは絶対に取る!という目標をダブルスで達成できた時は嬉しかったです。大会は終わってしまいましたが、卓球はこれからも続けていきたいです。後輩たちには、私よりも上手になれるように練習を頑張してほしいです。

大橋 弘貴 (二本松市立油井小学校出身)

先輩方のダブルスの息の合ったプレーがとても印象的でした。新人戦での勝利を目指して、日々の活動に一生懸命取り組んでいきたいです。

加藤 ひな乃 (福島市立矢野目小学校出身)



新体カテスト

6月18日(火)に新体カテストが実施されました。福島成蹊中・高等学校全生徒、約1,000人が信夫ヶ丘陸上競技場に集まりました。「1秒でも速く、1回でも多く、1cmでも遠くへ」という気持ちで、皆一生懸命に取り組んでいました。

